

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： 地理総合（東京書籍）、新詳高等地図（帝国書院）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察的や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	A 球面上の世界 【知識・技能】 地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 球体としての地球の観点から、図を活用して地球上での位置や時差のしくみを捉え、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができる。	・地球上での位置情報の基礎として、球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解するとともに、経度の違いから時差の概念を捉え、日常生活における時差計算の技能を身につける。 ・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 球体としての地球の観点から、図を活用して地球上での位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができたか。	○	○	○	3
	B 日本の位置と領域 【知識・技能】 世界地図の主な図法と利用について理解できる。 国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界地図を図法の違いにより使い分けられることができる。 日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができる。 日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えることができる。	・図法によって異なる世界地図の特色を捉え、スケール、視点、図法などを変化させながら、世界における日本の位置を理解するとともに、国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら、日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界地図の主な図法と利用について理解できたか。 国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりについて理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 世界地図を図法の違いにより使い分けられたか。 日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができたか。 日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えることができたか。	○	○	○	2
	C 国内や国家間の結びつき 【知識・技能】 人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。 統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。 主題に対して適切な統計地図を作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できる。 地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できる。 統計地図の作成に意欲的に取り組むことができる。	・グローバル化が進む世界において、国家間の協調や不均衡を理解するために、世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフの作り方を理解するとともに、交通・通信、貿易・物流、観光の視点から、人やもの、情報、資本・サービスの移動のようすについて、統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。 統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。 主題に対して適切な統計地図を作成できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。 地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できたか。 統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	D 暮らしの中の地図とGIS 【知識・技能】 GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。 地理院地図やひなたGISなどイン	・地図情報を活用する方法として、紙地図と電子地図としてのGISがあることを理解し、地理院地図や地形図を通して認識するとともに、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法と技能を身につける。	【知識・技能】 GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。 地理院地図やひなたGISなどインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。				